



学校キャラバン

- IN 鞍手竜徳高校
- 令和6年3月11日～12日

建設産業専門団体九州地区連合会





令和5年度 鞍手竜徳高等学校キャラバンについて

実施日：令和6年3月11日（月）、3月12日（火）

参加者：福岡県立鞍手竜徳高等学校
総合学科 工業技術系列 2年生41名

場所：福岡県立鞍手竜徳高等学校（福岡県宮若市龍徳161番地）実習室他

【カリキュラム】

日時	作業名	作業内容	協力団体	
3月11日（月） 3月12日（火） *2年生 41名	3月11日のみ 9:00～9:30	オリエンテーション	建設業の魅力を伝えます	九州建専連・九州地方整備局
	3月11日 9:40～12:40	足場設置	高所で作業をするための足場を組み立てます	福岡県高土工業連合会
		鉄筋ガス圧接	鉄筋を加熱し、圧力を加えながら接合します	西日本圧接業協同組合
		鉄筋結束	鉄筋を結束し、建物の骨組みを組み立てます	福岡県鉄筋事業協同組合
	3月12日 9:00～12:00	型枠組立	コンクリートを流し込むための型枠を作ります	（一社）日本型枠工事業協会九州支部
	*生徒が6グループに分かれ二日間で順次体験（各60分予定）	電気工事	電気設備の配線実演をします	（一社）日本電設工業協会九州支部
		解体工事	解体重機の操作を体験します	（一社）福岡県解体工事業協会
	3月12日のみ 12:00～12:40	意見交換会等		参加各団体



学校キャラバンの様子（鞍手竜徳高等学校）

オリエンテーション

協力団体・企業等の紹介



九州地方整備局から建設業魅力発信



作業体験

足場設置



鉄筋ガス圧接





学校キャラバンの様子（鞍手竜徳高等学校）

作業体験



鉄筋結束



型枠組立



電気工事



解体重機操作

意見交換会

生とからの質問



先輩からの助言



就職して会社を辞めずに一生続けていく秘訣はありますか？

すぐに仕事ができるわけではなく、経験によって仕事の奥行が深くなっていくので、あきらめないでやっていくことが大事。

どういう従業員を雇用したいと思いますか？雇用した従業員の共通点がありますか？

あいさつができて、元気でポジティブ、明るく、素直、人の話を聞ける人。

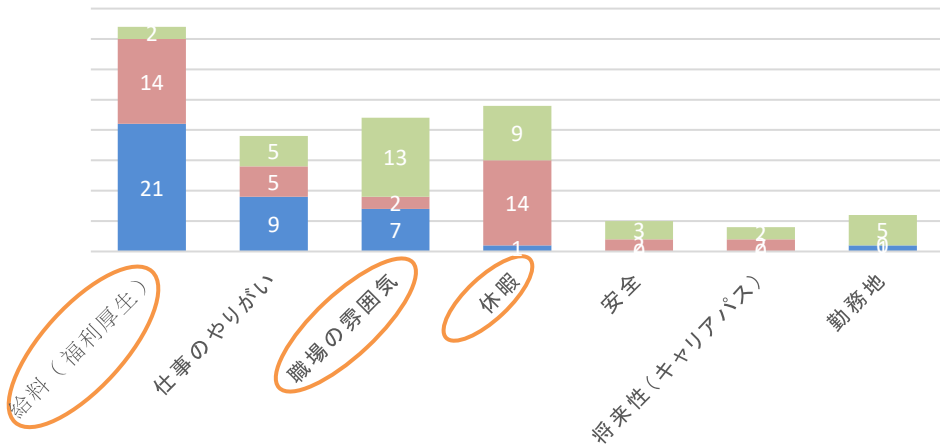
この仕事で楽しいと思うときは何ですか？

みんなと一緒に目的に向かって仕事を行い、他の業種の方と繋がりをもちながら、モノづくりに使命感を持って携われること。

生徒アンケート結果

職業を選択する際に意識する項目
(意識する順番ごとに3項目を選択)

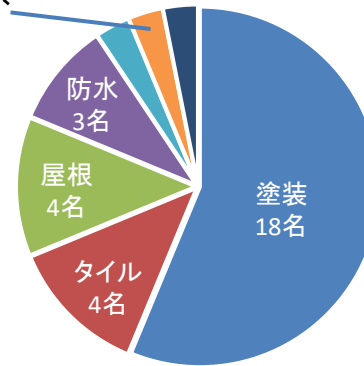
■ 3番目
■ 2番目
■ 1番目



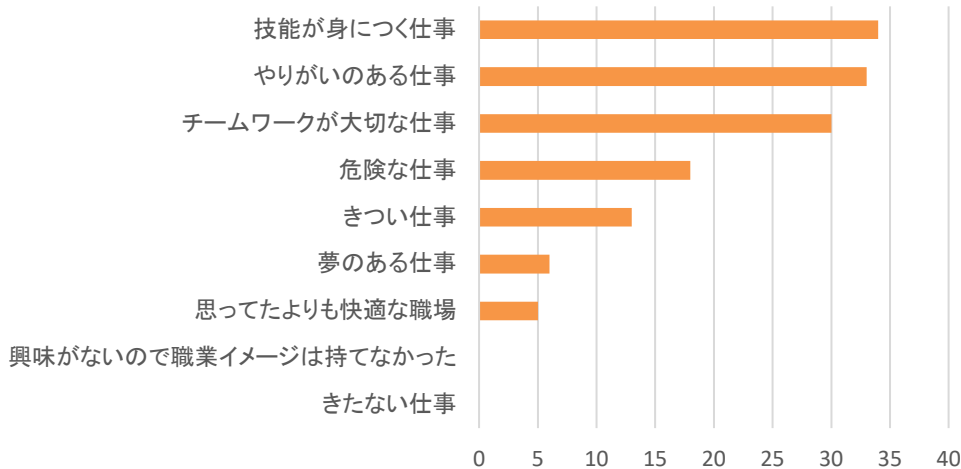
学校キャラバンに参加した鞍手竜徳高校の生徒40人が回答
(男性38人、女性2人)

体験してみたい専門工事業について

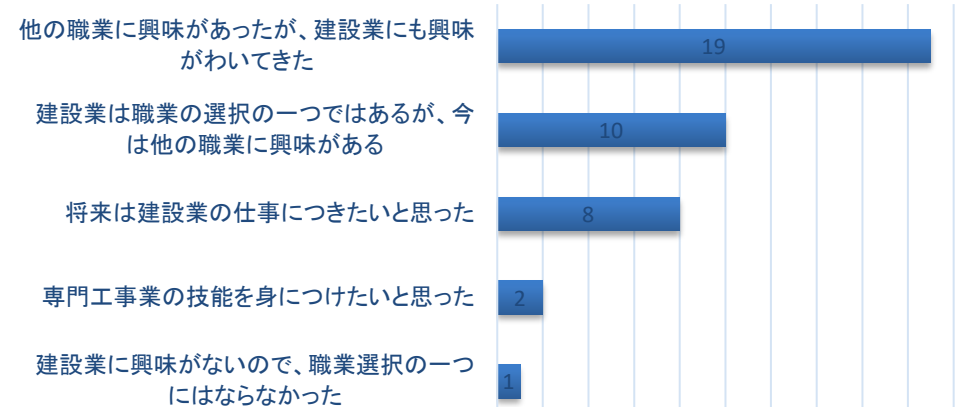
コンクリート圧送、
板金、アンカー
各1名



建設業のイメージは?



建設業が職業選択になったか



アンケートに記載されました

主な感想、興味を持ったこと

- ・体験を通してどの会社も自分の仕事に誇りとやりがいを持っていてすごかったよかったです。
 - ・普段あんまり見ることができない仕事について少し見ることができたので、とても良かったです。
- みんな自分の仕事が好きなんだなと感じたのでよかったです。
- ・建設業はきつくて大変なイメージが強かったけど、実際に体験してみて、きつい作業もあったけどその分やりがいがあるし、楽しかったので将来は今回の体験の内容を活かして決めていきたいと思いました。
 - ・大きな機械を操作してとても楽しかったです。見ているだけだと簡単に見えたけど、実際にやってみるととても難しかったです。どこの仕事場も、みんなが仲良くとてもいい雰囲気でした。
 - ・鉄筋結束の作業が一番やりがいを感じました。どこの工業よりも職場の雰囲気が良くて作業も楽しかったです。
- 鉄筋工業ではどういう資格がとれるのかをもっと聞いてみたかったです。
- ・解体工事業に興味がありました。どれくらい練習して取得したかなどが気になります。やりたいことが無かったけど、ユンボが扱えるようになりたいと思いました。
 - ・建設業は一つの業者の人が家などをつくっていると思っていたが、さまざまな企業が連携して家や学校などの公共施設を作っていると知ってチームワークが大切であると分かりました

教員のアンケート結果

- ・解体で実際に運転させるユンボ操作はなかなか体験できることではないので特に好評だった
- ・足場の作業で生徒自ら2回目を志願して作業に取り組んでいたことが印象深かったです。
- ・おかげさまで土木建築系の進路に進む生徒が今年度も5名出ました。この企画は生徒の進路選択に大きな影響を与えていることは間違いありません。
- ・貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。我々教員からも建設業の魅力、今後の展望を伝え、理解させることで今回の出前授業の効果をより向上させたいと思います

新聞報道されました

九建日報 3月13日

2年生41人にもものづくりの魅力

整備局と九州建専連 鞍手竜徳高で出前授業

国土交通省九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会は、11・12日の2日間にわたり、福岡県立鞍手竜徳高等学校で学校キャラバン（出前授業）を行った。参加した総合学科工業技術系列2年生の41人は、九州建専連の構成団体関係者の指導で型枠組み立てや鉄筋ガス圧接、電気工事など六つの作業を体験し、ものづくりの魅力を肌で感じた。

学校キャラバンは、九州地整と九州建専連が次世代の担い手確保のために進める各種取り組みの一環として実施している。体験前のオリエンテーションで、九州建専連の杉山秀彦会長は「専門工事業者は建物を造る上でなくてはならない存在。災害対応も大きな役割の一つで、日本を守っているという気持ちを持てる。この2日間で専門工事業の仕事を経験するが、就職先を選ぶ際の参考になればうれしい」とあいさつ。

九州地整建設部の川畑孝幸建設業適正契約推進官は、建設業の役割や魅力、建設投資額や就業者数の推移など建設業の現状、各種専門工事業の仕事内容などを説明した後、「今日は直接指導してもらえる貴重な機会。選択肢の一つとして、作業体験を楽しんでほしい」と呼び掛けた。

生徒たちは6グループに分かれ、「足場設置」（協力団体は福岡県鷹土工業連合会）、「鉄筋ガス圧接」（西日本圧接業協同組合）、「鉄筋結束」（福岡県鉄筋事業協同組合）、「型枠組立」（日本型枠工事業協会九州支部）、「電気工事」（日本電設工業協会九州支部）、「解体工事」（福岡県解体工事業協会）の作業をそれぞれ約1時間体験。工種の中には、協力している会社に就職した同校の先輩も駆け付け、アドバイスを送った。

足場の組み立て・撤去を体験した生徒は「簡単そうに見えた作業も実際に行くと難しく感じた。よい経験ができた」、鉄筋の結束を学んだ生徒は「工具を回しての締め付けがうまくできなかったが、楽しかった」などと感想を述べた。2日目は最後に意見交換会を実施し、生徒からの質問などに答えた。



すべての著作権は株式会社九建日報社に帰属します。

All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.